

# 国分で社会実験「ストリートテラス」

霧島市国分の新市街通りで、歩道の一部を飲食、物販スペースとして活用する社会実験「きりしまストリートテラス」があった。新

型コロナウイルスで3密回避が求められる中、飲食店主やアーティストが屋外での集客の可能性を探った。



## 歩道活用の可能性探る



大きなイチヨウに住民ら

### まちづくり実行協議会 飲食や物販の場提供へ

歩道を活用したスペースで飲食を楽しむ市民  
霧島市国分

20日は市内の5事業者が参加。夕刻から通りに面した居酒屋などが店頭に机を並べ、ビールや自慢の料理を提供した。霧島市国分府中町の自営業、仲里香織さん(40)は「立ち寄りたくなる雰囲気。お

換気のない環境で安心して飲食や買い物できる場を提供しよう」と、市や商工会議所などをつくる霧島リノベーションまちづくり実行協議会が11月17、23日に実施した。協議会が、250坪ある通りの占用・使用許可を一括取得。幅3・8坪の歩道の1・2〜1・5坪のスペースを午前9時〜午後9時に無料開放し、出店者それぞれの営業時間に合わせ活用した。

「参加店を増やしながら、街の日常風景になるよう模索したい」としている。

阿久根市の潟区公民館が11月28日、イルミネーションで彩られた。新型コロナウイルスで地域行事が軒並み



7段位に昇段して教え子らから拍手で祝福される森将嗣さん  
＝枕崎市武道館

中止となる中、色鮮やかな電飾が冬の住宅街を元気づけている。2009年から続け、区の役員約20人が

「沖縄酒業やがて」の伊野波大樹店長(42)は「新型コロナウイルスの影響を受ける中、お客さんに飲食場所の選択肢を提供できる。通りの雰囲気も明るくなり、いいアイデア」と話した。協議会では今後も取り組みを継続する予定。

「参加店を増やしながら、街の日常風景になるよう模索したい」としている。

家族や友人6人で7種類をシェア。「子ども向けのルールもあり喜んで笑



## 闘病越え

空手道師

枕崎市火之神町の日本空手道系洲会師範、森将嗣さん(70)の7段位を祝う会が11月26日、同市武道館であつ

た。森さん(70)は闘病を乗り越え、7段位に昇段した。祝賀会には、教え子らや家族、友人らが参加し、拍手で祝福された。森さんは「空手道は人生の師範。これからも頑張りたい」と話した。